

ショパンのピアノ曲と物語で綴る珠玉のドラマ・リーディング



作=斎藤憐

演出=佐藤信

出演：竹下景子

辰巳琢郎

ピアノ：安達朋博

ジョルジュ

ピアノと物語

予定曲目：革命、別れの曲、雨だれ、子犬のワルツ、幻想即興曲 ほか

2017 **11/21** (火)

14:30開演 (14:00開場) / 19:00開演 (18:30開場)

各回上演時間 約2時間30分 (途中15分休憩あり) ※未就学児入場不可。

たましんRISURUホール (立川市市民会館) 小ホール

全席指定 一般¥4,000 (ムーサ友の会会員¥3,500)
学生¥1,000引



【7/28金 友の会先行発売・7/30日 一般発売】

- たましんRISURUホール 042-526-1311 9:00~20:00/第3月曜休館。祝日の場合翌日休館。
- ※簡易託児制度のご利用は公演10日前までに要予約 (1歳~6歳児1名¥1,000/定員あり)
- ※車椅子使用者のためのお席があります。チケット購入時にお申し出ください。
- 財団オンライン：<http://www.tachikawa-chikibunka.or.jp> 座席指定可
- イープラス：<http://eplus.jp> 座席指定可

主催：(公財)立川市地域文化振興財団

企画制作：NPO法人劇場創造ネットワーク/座・高円寺



あらすじ・内容

ピアノの詩人と呼ばれたフレデリック・ショパンの名曲の多くは、作家ジョルジュ・サンドと過ごした9年間に生み出されています。

故郷ポーランドを想いながら、ジョルジュの献身的な愛に支えられ多くの名曲を生み出したショパン。

最後は別れの道を選択した、ふたりの波乱に満ちた情熱の日々。限定246席の小ホールを舞台に、ジョルジュと弁護士ミッシェルが交わす往復書簡の朗読と生演奏のピアノの旋律で、ショパンの39歳と7ヶ月の生涯を描きます。

出演は、ショパンを慈しみ、支え続けた作家ジョルジュに竹下景子。二人の関係を見守る包容力のある弁護士ミッシェルに辰巳琢郎。そしてピアノの詩人ショパンの繊細で美しい名曲を高校卒業後単身ヨーロッパに渡り数々のコンクールで入賞を果たした実力派ピアニストの安達朋博が演奏します。



辰巳 琢郎

Tatsumi Takuro

大阪教育大学附属高校2年生の時、つかこうへいの舞台に感銘を受け芝居を始める。京都大学文学部在学中は、関西では人気実力ともにNo.1の『劇団そとばこまち』を主宰し、役者としてだけでなく、プロデューサー、演出家として'80年代前半の学生演劇ブームの立役者となる。卒業と同時にNHK朝の連続テレビ小説『ロマンス』で全国区デビュー。以来、知性・品格・遊び心と三拍子揃った俳優として活躍している。観光庁アドバイザー、国連WFP協会顧問、日本棋院評議員、近畿大学文芸学部客員教授。



竹下 景子

Takeshita Keiko

東京女子大学文理学部社会学部卒業。NHK『中学生群像』出演を経て1973年NHK銀河テレビ小説『波の塔』で本格的デビュー。映画『男はつらいよ』のマドンナ役を3度務め『学校』では第17回日本アカデミー賞優秀助演女優賞を受賞。テレビ・映画・舞台への出演の他2005年日本国際博覧会「愛・地球博」日本館総館長をはじめ「世界の子どもにワクチンを日本委員会」ワクチン大使、国連WFP協会親善大使、京都国立博物館文化大使、C・C・C富良野自然塾でのインストラクターなど幅広く活動している。



安達 朋博

Adachi Tomohiro

イノ・ミルコヴィッチ高等音楽院(モスクワ音楽院提携校)を経て、クロアチア国立ザグレブ大学・音楽アカデミーの鍵盤学科ピアノコースを最優秀にて卒業。在学中より、ブラームス国際音楽コンクールなど欧州各地の8つの国際コンクールで受賞。2016年、イスラエル・エルサレム交響楽団日本公演でチャイコフスキーのピアノ協奏曲第2番にソリストで出演。

感性は非常にセンシティブでデリケートである。それは音楽解釈の独創性にも繋がっており、根強いファンを増やし続けている。

【アクセス】たましんRISURUホール 東京都立川市錦町3-3-20

JR中央線、青梅線 五日市線 立川駅南口下車徒歩13分。多摩モノレール立川南駅下車徒歩12分。

JR南武線 西国立駅下車徒歩7分。